



# いちご通信

No. 24

(2008. 12. 21)

<http://blog.goo.ne.jp/15house/>

発行: ミュージカルカンパニー「いちごハウス」事務局

## \* 「ミシュカの森」について \*

街はクリスマスのイルミネーションに彩られ、2008年もまもなく暮れようとしています。

今から8年前、20世紀最後の日に起こった忌わしい事件「世田谷事件」。

入江杏さんは、被害者となってしまった妹さん一家4人が、一生懸命前向きに生きていた事を語り継ぐことで、事件の解決を願っていらっしゃいます。

そして、杏さんはこの活動を通じて、このような悲しみから、社会不信・人間不信のあまり、負の連鎖に陥ることのないように、人の絆や温もりも同時に伝えていきたいと思っいらっしゃいます。その杏さんが、私たちの舞台を観てくださり、「心動かされた。『大好きな歌を歌って、大好きなお芝居をして、心触れ合う時間を仲間やお客さまと共有できて楽しい!』そんないちごとの出会いに私が励まされたからこそ、ミシュカの再生の歌を歌ってほしいと思った」と仰ってくださった事に、私たちも「心動かされた」のです。心を込めて歌いましょう。

★～☆ 12月27日(土) 当日の動き ☆～★

### ☆入り

08:51 印西牧の原駅 発 → 中延駅乗り換え → 10:27 等々力駅 着 会場入りし準備をする。  
11:30 リハーサル 開始 (準備が早く整い、早まる可能性もあり)

### ★ステージング

杏さんが講演終盤で、読み聞かせ活動をしていらっしゃることをお話しされます。

いちご出演者は、「読み聞かせを聞く子どもたち&大人たち」として舞台へ出ます。ステージ上で体育座りをし、杏さんの読み聞かせ「ずっとつながってるよ」を聞きます。

\* 登場きっかけ・舞台位置については、当日現場リハーサルで決定します。

読み聞かせが終わったら、ピアノきっかけで静かに立ち上がり、歌う位置に移動。

前奏～♪「ずっとつながってるよ」

歌い終わったところで、杏さんのお話が入ります。

①歌にこめた想い ②いちごの紹介 ③「こんなきれいな星たち」についてなど。

前奏～♪「こんなきれいな星たち」

\* 後奏終わりまでそのまましっかり前を向いていること。

後奏終わり 倉島先生が立ち上がり、礼。

(おそらくこのタイミングでお客様の拍手が始まる)それをきっかけに全員で礼。

杏さんの「いちごハウスさんでした」で下手にはけます。

### ☆持ち物

①交通費 ②楽譜

③衣装・靴 ※現地で着替えることを基本としますが、汚す心配のない場合は着て行ってもOK。  
衣装のコンセプトは先日メールしたとおり。(本日、確認します。)

④お弁当・飲み物・おやつ ※お弁当は現地で調達もできます。要予約 12/22 締切 石川まで。

### ★会場

玉川区民会館 東急大井町線 等々力駅下車 徒歩1分

住所 東京都世田谷区等々力3-4-1

電話 03-3702-1675

# ☆☆悼む心、つながるいのち☆☆

## 「ミシュカの森」 プログラム

2008年12月27日(土) 14時～16時  
玉川区民会館



### 第一部

- |                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. ゴスペル 「Make Us One」                 | Sunnyside-Ups       |
| 2. 忘れないで、世田谷事件 「喪失からの再生を模索して」         | 入江 杏                |
| 3. 読み聞かせ 絵本「ずっとつながってるよ こぐまのミシュカのおはなし」 | 入江 杏(朗読) 倉島明子(ピアノ)  |
| 4. コーラス「ずっとつながってるよ」 「こんなきれいな星たち」      | ミュージカルカンパニー「いちごハウス」 |

### 第二部

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 5. 講演「悼む心、つながいのち」 | ノンフィクション作家 柳田 邦男先生 |
| 6. 閉会の辞           | 成城警察署長 黒目 達郎様      |
| 7. メッセージ          | 入江 杏               |

#### ☆☆柳田邦男氏

ノンフィクション作家。近年、終末期医療や死と生き方、事件と心の危機、さらに大人だからこそ楽しめる絵本の魅力などをテーマに積極的に活動されています。

#### ※主な著書

- 「マツハの恐怖」—大宅壮一ノンフィクション賞(フジ出版社)
- 「ガン回廊の朝」—講談社ノンフィクション賞(講談社)
- 「犠牲(サクリファイス)わが息子・脳死11日—菊池寛賞(文藝春秋社)
- 「砂漠で見つけた一冊の絵本」(岩波書店)
- 「壊れる日本人 ケータイ・ネット依存症への告別」(新潮社)
- 「大人が絵本に涙する時」(平凡社)
- 「石に言葉を教える 壊れる日本人への処方箋」(新潮社)

#### ☆☆その他

- ①「ミシュカの森」は入場無料です。どなたでもご参加いただけます。
- ②解散時間は未定です。お子様だけで参加のご家庭には、現地より解散時間の連絡を入れます。
- ③ご不明な点、当日の連絡は、石川までお願いします。

事務局 石川 (090-4436-3912)

e-mail:[kumiko-ishikawa.gon@ezweb.ne.jp](mailto:kumiko-ishikawa.gon@ezweb.ne.jp)

